

平成25年度

決算 報告

平成26年9月定例町議会において、平成25年度決算が承認されました。
 決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかでどのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成25年度は、どのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

一般会計

■一般会計歳入

(単位/千円)

項目	25年度決算	前年度増減額
自主財源		
町税	36億2,455万7	△2,560万2
繰越金	4億4,135万9	5,667万2
繰入金	3億4,686万8	△3億6,391万8
その他		
分担金及び負担金	1億 921万8	△60万7
使用料及び手数料	7,512万3	1,434万2
財産収入	3,787万9	2,239万6
寄附金	59万1	△31万4
諸収入	1億4,297万5	△3億5,108万9
依存財源		
地方交付税	20億1,442万2	801万4
国庫支出金	15億3,745万7	4億5,561万4
町債	13億4,024万4	2億1,519万7
その他		
県支出金	6億 857万6	△1億1,397万2
地方消費税交付金	2億9,321万9	△252万2
地方譲与税	9,423万5	△445万7
地方特例交付金	1,882万8	△52万1
自動車取得税交付金	3,718万0	△555万2
ゴルフ場利用税交付金	7,168万8	13万2
利子割交付金	788万3	△93万0
株式等譲渡所得割交付金	2,724万1	2,467万9
配当割交付金	1,662万3	774万5
交通安全対策特別交付金	525万8	△3万7
合計	108億5,142万4	△6,473万0

町民1人あたりの
町税の負担額は

10万2,256円

町民税

50,828円

固定資産税

39,644円

町たばこ税

6,774円

都市計画税

3,281円

軽自動車税

1,729円



■特別会計歳出入・企業会計収支 (単位/千円)

区分	歳入	歳出	歳入－歳出
特別会計			
国民健康保険	46億3,575万2	44億7,665万8	1億5,909万4
農業集落排水事業	2,893万2	2,283万8	609万4
介護保険	19億2,464万9	18億5,449万3	7,015万6
後期高齢者医療	2億9,974万2	2億9,350万3	623万9
区分	収入	支出	収入－支出
水道事業会計			
収益的収支	7億4,237万	6億8,998万3	5,238万7
資本的収支	93万5	3億8,498万8	△3億8,405万3 [※]

※水道事業会計の内、資本的収支の収入不足は、会計内に積立てられた損益勘定留保資金などで補てんしました。

町の会計は、一般会計と、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行う特別会計とに分けられています。
 毛呂山町には、国民健康保険、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計と、企業会計である水道事業会計とがあります。

特別会計

平成25年度の主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

- 広報印刷事業 559万8千円
- 区運営費補助金 428万1千円
- コミュニティ協議会補助金 181万円

健康で安心して暮らせるまちづくり

- 児童手当 5億 422万5千円
- 介護給付費・訓練等給付費 4億3,432万5千円
- こども医療費 8,843万円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

- 武州長瀬駅北口周辺地区整備事業 9億6,955万1千円
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金 4億2,386万3千円
- 埼玉西部環境保全組合負担金 3億9,472万1千円

元気に仕事ができるまちづくり

- 農道・用排水路等整備事業 3,302万4千円
- 観光事業 1,510万2千円
- 商工会補助金 754万円

学びを未来に活かすまちづくり

- 川角中学校大規模改造工事 1億7,482万5千円
- 小学校トイレ改修工事(4校) 4,716万円
- 川角中学校武道場改修工事 4,214万5千円

一般会計歳出

(単位/千円)

項目	25年度決算	前年度増減額
民生費	30億9,394万8	△2億6,271万5
土木費	18億9,962万8	5億2,625万8
教育費	13億8,502万4	3億3,699万3
総務費	12億1,618万7	△1億5,086万6
衛生費	7億6,001万7	△2,545万8
公債費	7億2,931万8	△3,893万6
消防費	6億1,072万2	△207万1
農林水産業費	1億4,687万8	2,428万3
その他		
議会費	1億1,468万2	112万7
商工費	5,184万9	204万0
労働費	3,003万2	0
災害復旧費	0	0
諸支出金	4億4,873万1	△3億9,843万4
合計	104億8,701万6	1,222万1

町民1人あたりに使われるお金は

29万5,859円

民生費

87,286円

土木費

53,592円

教育費

39,074円

総務費

34,311円

衛生費

21,442円

公債費

20,575円

消防費

17,230円

農林水産業費

4,144円

その他

18,205円

用語解説

自主財源 町税、使用料・手数料、諸収入など、町が自ら調達できる財源

依存財源 地方交付税、国庫・県支出金、町債、交付金など、国や県から交付されたお金や借り入れたお金

町税 町に納められた税金で、町税全体の約9割が町民税と固定資産税

都市計画税 都市計画事業の費用に充てるために、市街化区域内に所在する土地および家屋を所有する人に課税される税金

地方交付税 一定の行政サービスの水準を維持するために、国から交付されるお金

町債 普通建設事業などを行うために、国や金融機関などから借り入れたお金

公債費 借り入れた町債を返済するための経費



もろれくんの バランスシート **チェック**

～バランスシートを見ながら町の財務状態をチェックしよう～

学校、施設、道路などの町の資産を「借方」に、それを作ら
 ためのお金を「貸方」に記載するんだ。貸方のうち、「負債の部」
 はこれから返すお金、「純資産の部」はすでに払ったお金のことだよ。



借方

町の資産(土地・現金など) 単位:千円

資産の部	町全体	町民1人当り
公共資産	446億2,826万5	125万9
生活インフラ・国土保全	207億 653万1	58万4
教育	84億2,419万6	23万8
福祉	11億4,524万4	3万2
環境衛生	4億5,198万3	1万3
産業振興	26億2,118万6	7万4
消防	9,934万0	3
総務	111億2,883万5	31万4
売却可能資産	5,095万0	1
投資等	17億9,810万3	5万1
投資及び出資金	8億9,680万7	2万5
投資損失引当金	0	0
貸付金	0	0
基金等	6億5,861万4	1万9
退職手当目的基金	0	0
その他特定目的基金	5億7,386万1	1万7
土地開発基金	1億 653万7	3
その他定額運用基金	200万0	0
退職手当組合積立金	△2,378万4	△1
長期延滞債権	2億9,950万0	9
回収不能見込額	△5,681万8	△2
流動資産	13億4,764万8	3万8
現金預金	12億4,414万9	3万5
財政調整基金	8億7,974万1	2万5
減債基金	0	0
歳計現金	3億6,440万8	1万0
未収金	1億 349万9	3
地方税	1億2,709万3	4
その他	0	0
回収不能見込額	△2,359万4	△1
合計	477億7,401万6	134万8

貸方

資産形成に要した資金の調達方法 単位:千円

負債の部	町全体	町民1人当り
固定負債	105億8,509万9	29万8
地方債	88億8,240万4	25万0
長期未払金	0	0
物件の購入等	0	0
債務保証又は損失補償	0	0
その他	0	0
退職手当引当金	17億 269万5	4万8
損失補償等引当金	0	0
流動負債	7億9,921万5	2万3
翌年度償還予定地方債	7億 332万7	2万0
短期借入金	0	0
未払金	0	0
翌年度支払予定退職手当	0	0
賞与引当金	9,588万8	3
歳計外現金	0	0
合計	113億8,431万4	32万1

純資産の部	町全体	町民1人当り
公共資産等整備国県補助金等	56億 725万7	15万8
公共資産等整備一般財源等	223億4,250万9	63万1
その他一般財源等	△4億5,093万5	△1万3
資産評価差額	88億9,087万1	25万1
合計	363億8,970万2	102万7

負債・純資産合計 477億7,401万6 134万8

資産 = 負債 + 純資産

平成25年度

資産
(町の財産)

負債
(将来の世代が負担)
+
純資産
(これまでの世代が
すでに負担)

町全体

資産 = 負債 + 純資産
477億円 113億円 364億円

町民1人当たり

資産 = 負債 + 純資産
134万8千円 32万1千円 102万7千円

バランスシートを参考に、平成25年度の流動負債に対する流動資産の割合を計算してみよう。流動資産(13億4,764万8千円)÷流動負債(7億9,921万5千円)は、約168.6%だね。つまり、翌年度支払額の約1.7倍の流動資産をもっているということなんだ。次に、純資産に対する負債比率を計算してみよう。

負債(113億8,431万4千円)÷純資産(363億8,970万2千円)は、約31.3%で、まだまだ低いほうなんだよ！ 負債比率は、財政の健全性の観点から、低いほうが良いとされているんだ。

こうしてみると、毛呂山町の財政が健全であることを、数字で知ることができるね！

財政健全化を判断する 4つの指標

実質赤字比率

標準財政規模*に対する
一般会計などの赤字の程度

赤字なし

国の早期健全化基準…… 14.19%

連結実質赤字比率

標準財政規模*に対する
全ての会計の赤字の程度

赤字なし

国の早期健全化基準…… 19.19%

実質公債費比率

標準財政規模*に対する
1年間の借金返済額の割合

5.5%

国の早期健全化基準…… 25.0%
健全値…18%未満、県平均…6.1%

将来負担比率

標準財政規模*に対する全
ての会計の借金残高の割合

52.3%

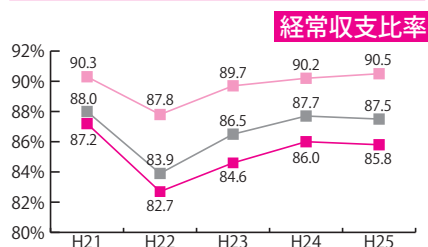
国の早期健全化基準…… 350%
県平均…… 34.2%

※標準財政規模…1年間に安定して得ることができる収入

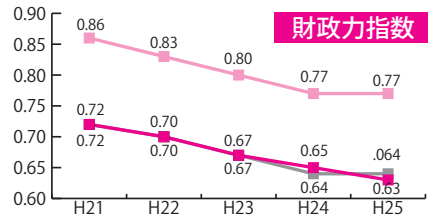
毛呂山町はいずれの指標も早期健全化基準を下回り、健全性を示しています。

各種財政指標 の推移

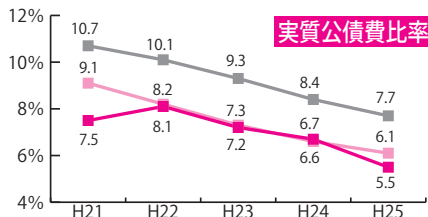
■ 毛呂山町
■ 県平均
■ 県町村平均



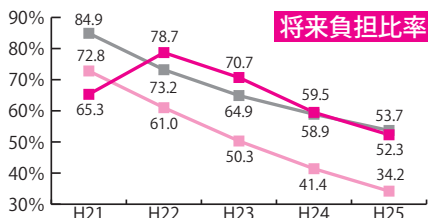
■ **経常収支比率** 財政構造の弾力性を測定する比率。毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費や、扶助費など毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられている。



■ **財政力指数** 高いほど財源に余裕があるとされる。単年度で1を超える場合には、自立して財政運営ができることを示し、普通交付税の不交付団体となる。



■ **実質公債費比率** 町の借入金返済額(元金や利子)などの財政負担の大きさを表す比率。毛呂山町では、近年、ほぼ県内市町村平均と同様に下がっている。



■ **将来負担比率** 借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の大きさを表すもの。毛呂山町では、近年、ほぼ県内市町村平均と同様に下がっている。

バランスシートの

用語解説

資産 これまでの行政活動によって形成された、町の経営資源となる財産

公共資産 町役場庁舎や公民館などの建物や付属設備、橋や道路の舗装などの構築物、自動車、土地など(土地を除き施設の耐用年数に応じて減価償却を行っている)

投資等 川越総合卸売市場への出資金、公共施設整備基金などの特定目的基金と、土地開発基金など

流動資産 現金、預金のほか1年以内に現金化することが可能な基金と、町税などの未収金

負債 資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならない町の借金

固定負債 借入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額や、年度末に町の職員が普通退職した場合に支払う退職金の額

流動負債 地方債のうち翌年度以降の償還予定額

純資産 資産と負債の差額

公共資産等整備国県補助金等

国や県から受け入れた資金

公共資産等整備一般財源等

資産形成に用いた財源のうち、国県からの資金および地方債以外のもの